

# スキル別時間単価

税込み(2022年11月現在)

スキルレベル	月額レベル	時間単価	2022年11月現在の所属人数
レベル7	231万円～	時価	該当者なし
レベル6	181～230万円相当	¥15,000	1名:大阪
レベル5	141～180万円相当	¥12,000	1名:東京
レベル4	101～140万円相当	¥10,000	1名:横浜
レベル3	80～100万円相当	¥8,000	

- プレミアムプランの案件対応は、想定時間と担当者レベルで金額を算出
- 上記金額の前払入金後の支援開始となります
- 月内で想定時間を超えた場合次月清算となります
- 購入で残った支援時間は、次月にて充当させて頂きます

# レベル別定義要件表

レベル	説明	ITスキル標準V3の評価視点
レベル7	プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、社内外において、テクノロジーやメソッドロジ、ビジネスを創造しリードするレベル。市場全体から見ても、先進的なサービスの開拓や市場化をリードした経験と実績を有しており、 <b>世界で通用するプレーヤ</b> として認められる。	主にプロフェッショナルとしての認知度で評価 職種別経歴書による確認とプロフェッショナルによる面接 (レベル5以上の達成度指標)
レベル6	プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、社内外において、テクノロジーやメソッドロジ、ビジネスを創造しリードするレベル。社内だけでなく市場においても、プロフェッショナルとして経験と実績を有しており、 <b>国内のハイエンドプレーヤ</b> として認められる	<input type="checkbox"/> 案件数 <input type="checkbox"/> 対応顧客数 <input type="checkbox"/> 資格 <input type="checkbox"/> 年商 <input type="checkbox"/> 独立年数 <input type="checkbox"/> 著書 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 講師 <input type="checkbox"/> 出願 <input type="checkbox"/> 学会、プロコミュニティ活動
レベル5	プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、社内において、テクノロジーやメソッドロジ、ビジネスを創造しリードするレベル。社内において、プロフェッショナルとして自他ともに経験値と実績を有しており <b>企業内のハイエンドプレーヤ</b> として認められる。	
レベル4	プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、自らのスキルを活用することによって、独力で業務上の課題の発見と解決をリードするレベル。社内において、プロフェッショナルとして求められる経験の知識化とその応用( <b>後進育成</b> )に貢献しており、 <b>ハイレベルプレーヤ</b> として認められる。スキル開発においても自らの研鑽を継続することが求められる。	スキル熟練度合いおよびプロフェッショナルとしての認知度で評価 専門別の硬度試験によるスキル習熟度合いの確認と職種別経歴書による書類審査等(レベル4の達成度指標)、またはプロフェッショナルによる面接 実務経験5年以上のこと
レベル3	要求された作業をすべて <b>独力で遂行</b> する。スキルの専門分野確立を目指し、プロフェッショナルとなるために必要な応用的知識・技術を有する。スキル開発においても自らの研鑽を継続することが求められる	スキル習熟度合いの評価と専門領域に関するプロジェクト経験 応用情報技術者試験の合格をもってレベル3の能力を有するものと評価する。 ITスキル標準で規定する職種、専門分野については、業務の従事状況(ジョブアサインメント)にて特定する。 実務経験3年程度
レベル2	<b>上位者の指導の下に、要求された作業を担当する</b> 。プロフェッショナルとなるために必要な基本的知識・技術を有する。スキル開発においては、自らのキャリアパス実現に向けて積極的なスキルの研鑽が求められる。	主にスキル習熟度合いで評価 基本的に対応する試験の合格をもってレベル評価を行う
レベル1	情報技術に携わる者に <b>最低限必要な基本知識を有する</b> 。スキル開発においては、自らのキャリアパス実現に向けて積極的なスキルの研鑽が求められる。	